

Press Release

各 位

三菱UFJ国際投信株式会社
東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

資産運用応援サイト『ポートステーション』に『^{イ デ コ}iDeCoコラム』を新設

三菱UFJ国際投信株式会社(取締役社長 ^{まつだ とおる}松田 通)は、資産運用応援サイト『ポートステーション』に
^{イ デ コ}『iDeCoコラム』を新設し、2017年1月4日からリリース致します。

“じぶんで作る年金”をキーワードに2017年1月からの個人型確定拠出年金(愛称iDeCo)の対象者が拡大されます。低金利下で運用難の昨今、預金以外の手段でも、個人が自分自身で将来の資産形成をする重要性は、ますます高まっています。

そこで、当サイトでは『^{イ デ コ}iDeCoの制度』と『資産形成のための3つの工夫』をセットでシンプルに全5回に亘って連載コラムで紹介する予定です。

当サイトを訪れた方々が、

- ① いま注目されている税制優遇のある個人型確定拠出年金制度の概要がわかるようになる。
- ② 投資初心者の多くが感じている「投資ってなんとなく怖そう…」というイメージから、「なんとなく、始めてみようかな…」と感じていただけるようになる。
…そんなことを目指しています。

当サイトが、投資初心者のみなさまにとって『豊かなセカンドライフに向けた“じぶん年金”形成』を考えるきっかけとなれば幸いです。

■サイトイメージ

iDeCoは、税制優遇を活用しながら、自分の年金を作っていく制度です

最近よく耳にする『iDeCo』。いったいなんのこ？
どうやったらうまく活用できるのかな？

iDeCo（イデコ）＝個人型確定拠出年金の愛称です。加入すれば、(1) 毎月掛け金を拠出（積立）して運用することで、(2) 60歳以降に年金又は一時金として受け取れます。その魅力はなんといっても3つの税制優遇！

3つの税制優遇

1. 拠出（積立）金は「全額所得控除」の対象に！
【例】40歳で課税所得金額500万円の方が、60歳までの20年間、毎月2万円をiDeCoに拠出（積立）した場合＝最大で20年間で144万円の節税効果に！
2. 運用している間は「運用益が非課税」に！（通常は源泉分離課税で20.315%がかかります）
3. 60歳で受け取るときに「退職所得控除」または「公的年金等控除」の対象に！

ご自分がどこにあてはまるか、まずは以下の図でチェック！

iDeCoは、基礎年金(1階部分)、厚生年金保険(2階部分)などの公的年金に上乗せして給付を受ける私的年金(3階部分)のひとつです。

2017年1月から、DC法改正により、60歳未満のほぼすべての方が加入できるようになります！

自営業者等	専業主婦等	企業年金等に加入していない方	企業年金等 ^(※1) に加入している方や公務員・私学共済加入者の方
拠出限度額 年額81.6万円 (月額6.8万円) <small>※国民年金制度への加入者</small>	拠出限度額 年額27.6万円 (月額2.3万円)	拠出限度額 年額27.6万円 (月額2.3万円)	拠出限度額 年額24.0万円(月額2.0万円) ^(※1) または年額14.4万円(月額1.2万円) ^(※2) 企業年金等 ^(※1)
国民年金基金 iDeCoに重ね加入可能		厚生年金保険	
		基礎年金	

(出所) 厚生労働省「iDeCo」を上手に活用しよう！ 国民年金 活用ガイド

※1 企業年金等とは企業型DC、確定拠出年金制度、企業型DCを運用している企業、企業型DC運用でiDeCoへの加入を認めている場合のA加入者。
※2 企業年金等(※1)に加入している方から、「企業型DC」にA加入している方のみ。
※3 企業年金等(※1)に加入している方から、「企業型DC」にA加入している方(※2)以外の方の額、(公)議員・私学共済加入者もこちらに含まれます。
■上記は、2016年9月末現在の年金制度の仕組みの概観であり、今後変更となる可能性があります。

さっそく始めたいけど、なにではじめたら…とお悩みの方にお薦めののが投資信託！
「投資信託といえは儲け過ぎなのでは…」と思われるかもしれませんが、ちょっとした工夫で預金とは異なる資産形成が期待できるんです*

今回はそんな工夫の仕方のひとつ「長期投資」をご案内します。60歳まで引き出すことができないこの制度。多くの方にとっては長期投資になるはず。以下はここ20年間の投資リターン（国内株・債券、海外株・債券に1/4ずつ分散して投資した場合）のデータです。このケースでは、保有期間が1年だけだと収益は安定しませんが、5年、10年と保有期間が長くなればなるほど、安定するのをお分かりいただけるのではないのでしょうか。

まずは「長期投資」をミカタにつけて、2017年は『iDeCoで投資信託デビュー』の年にしませんか？

投資期間別リターンの推移(円ベース)
＜前提条件＞ 国内株式、国内債券、海外株式、海外債券に均等投資、毎月リバランス実施。
(データ期間:1996年1月末～2016年9月末)

投資期間 1年 (1996年1月末から2015年9月末までの基準月から51年間のリターン)
23.7割のうち、68%の160割がプラス
(投資開始年)

投資期間 5年 (1996年1月末から2011年9月末までの基準月から5年間のリターンを年率換算)
18.9割のうち、77%の146割がプラス
(投資開始年)

投資期間 10年 (1996年1月末から2006年9月末までの基準月から10年間のリターンを年率換算)
12.98割すべてでプラスに！
(投資開始年)

出所:Bloombergのデータに基づき「iDeCo」運用シミュレーション
■上記は、過去の実績・状況、作図時点での認識・見込みに基づく分析です。これは、将来の市場環境の変動や運用状況・結果を予測・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
■計測期間が異なる場合は結果も異なることにご注意ください。上記は掲載を使用しています。掲載については、【本サイトで使用している情報について】をご覧ください。

■サイト掲載場所

[資産運用応援サイト『ポートステーション』～eMAXIS カフェ～]内

<http://portstation.emaxis.jp/cafe/>

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

- 当資料は、プレスリリースとして三菱UFJ国際投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。

以上

＜本リリースに関するお問い合わせ先＞

三菱UFJ国際投信 経営企画部

電話 (03)5221-5163